

# 県の食育関連事業の実施状況

## 【重点施策1:食育を通じた健康づくり】 プラン1 生涯を通じた健康づくり プラン2 健全な食生活の実現

事業名		事業概要	H30実施内容	R1実施計画
1	みやぎ21健康プラン推進事業(健康推進課)	県民の健康寿命の延伸を図るため、「第2次みやぎ21健康プラン(以下、プラン。)」(計画期間:H25~34年度)の進行管理及び効果的かつ継続的な推進を図る。また、市町村健康増進計画推進のための支援を行う。	平成30年度実績【決算額:2,835千円】 1 みやぎ21健康プラン推進協議会の開催(2回) 2 みやぎ21健康プラン評価委員会(有識者ワーキング)の開催 3 第2次みやぎ21健康プラン普及事業 4 市町村健康増進計画支援事業	令和元年度計画【予算額:1,223千円】 1 みやぎ21健康プラン推進協議会の開催 2 第2次みやぎ21健康プラン普及事業 3 市町村健康増進計画支援事業
2	メタボリックシンドローム対策戦略事業(健康推進課)	本県の喫緊の健康課題であるメタボリックシンドローム対策として、各保健所において地域特性を踏まえた事業展開に特化した取組を推進する。また、保健指導従事者の質の向上を目的に特定健診・保健指導に係る研修会を開催する。	平成30年度実績【決算額:3,584千円】 1 企画・評価会議の開催(各保健所) 2 地域課題を踏まえたメタボリックシンドローム予防啓発事業の実施(各保健所) 3 効果的な特定保健事業の推進に係る研修会の開催(モデル事業) 4 受動喫煙防止に係る広報・啓発(パネル作成等)	令和元年度計画【予算額:2,118千円】 1 企画・評価会議の開催(各保健所) 2 地域課題を踏まえたメタボリックシンドローム予防啓発事業の実施(各保健所) 3 特定健診・保健指導従事者研修会の開催(知識技術編/事業運営編)
3	スマートみやぎプロジェクト(健康推進課)	県民の健康づくりを推進するため、スマートみやぎ健民会議(県民運動)を基盤とし、市町村や民間企業等との協働により、全ライフステージへの切れ目のない支援体制を構築する。	平成30年度実績【決算額:11,882千円】 1 代表者会議の開催 2 第3回健康づくり優良団体表彰(スマートみやぎ健民表彰) 3 応援企業打合せ会の開催 4 職場の健康づくりリーダーセミナーの開催(大崎市) 5 みやぎヘルスサテライトステーション事業費補助金の創設	令和元年度計画【予算額:15,317千円】 1 代表者会議の開催 2 第4回健康づくり優良団体表彰(スマートみやぎ健民表彰) 3 応援企業打合せ会の開催 4 管理者等セミナー 5 職場の健康づくりリーダーセミナーの開催 6 みやぎヘルスサテライトステーション拡大事業
4	食生活改善普及事業(健康推進課)	全市町村に組織化され地域に根ざした活動をしている食生活改善地区組織により生活習慣病予防を目的とした食生活改善の実践方法について県民に広く普及啓発を行う。	平成30年度実績【決算額:814千円】 1 食生活改善講習会の実施(全市町村, 70回) 2 食生活改善地区組織への活動育成, 支援	令和元年度計画【予算額:954千円】 1 食生活改善講習会の実施 2 食生活改善地区組織への活動育成, 支援
5	歯科保健事業(健康推進課)	「第2期宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画」に基づき、県民一人ひとりがその健康状態やライフステージに応じた歯と口腔の健康づくりができるよう支援体制の整備を行い歯科保健水準の向上を図る。	平成30年度実績【決算額:18,478千円】 1 歯科保健推進協議会 2 歯つらつファミリーコンクール表彰 3 フッ化物洗口普及事業 4 職域における歯科保健対策事業 5 妊娠期における歯科保健対策事業 6 障害児親子歯みがき教室事業 7 口腔保健支援センター運営事業 8 8020運動及び歯科口腔保健の推進に関する検討評価委員会 9 幼児歯科保健関係者研修会 10 学童期・思春期、要介護者及び障害児・者の口腔ケア支援者研修事業 11 在宅歯科医療連携室整備事業 12 障害児・者歯科保健・医療体制整備推進事業 13 在宅及び障害児・者歯科医療連携室整備推進事業	令和元年度計画【予算額:26,443千円】 左記事業に加えて下記事業を実施予定 ・働き盛り世代の歯と口腔の健康づくり普及啓発事業 ・職場の歯周病予防啓発事業 ・多分野による歯と口腔のネットワーク会議
6	特定給食指導事業(健康推進課)	健康増進法に基づき特定給食施設等への行政指導等の実施 1 特定給食施設等への行政指導 2 給食施設従事者等研修会	平成30年度実績【決算額:362千円】 1 特定給食施設等への巡回指導 2 給食施設従事者等研修会(各保健所において開催)	令和元年度計画【予算額:428千円】 1 特定給食施設等への巡回指導 2 給食施設従事者等研修会(各保健所において開催) 3 特定給食施設指導担当者会議の開催
7	はやねはやおきあさごはん推奨運動(教育企画室)	「はやね・はやおき・あさごはん」といった基本的な生活習慣の定着を広く呼びかけ、子供の生活リズム向上を図る普及活動を行う。	平成30年度実績【非予算】 1 早寝早起き朝ごはん実行委員会in宮城(いい朝みやぎ)との連携 2 ミヤギテレビ主管「子育て応援団すこやか2018」へのブース出展	令和元年度計画【非予算】 1 早寝早起き朝ごはん実行委員会in宮城(いい朝みやぎ)との連携 2 ミヤギテレビ主管「子育て応援団すこやか2019」へのブース出展 3 教育庁内・知事部局との連携

事業名		事業概要	H30実施内容	R1実施計画
8	基本的な生活習慣定着促進事業 (教育企画室)	子供の規則正しい生活リズムの確立に向けた県民運動を推進するとともに、みやぎっ子ルルブル推進会議の設立趣旨に賛同する企業・団体と連携し、社会総がかりで未就学児や児童生徒の基本的な生活習慣の定着促進を図る。	平成30年度実績【決算額:30,997千円】	令和元年度計画【予算額:35,752千円】
			<ul style="list-style-type: none"> <li>1 ルルブル親子スポーツフェスタの開催:参加者2,755人</li> <li>2 みやぎっ子ルルブル推進優良活動団体の表彰及びパネル展示(14団体)</li> <li>3 小学生ルルブルポスターコンクール入賞者の表彰及び展示(18人)</li> <li>4 ルルブルロックンロール教室の実施(40回)</li> <li>5 ルルブル紙芝居演劇の上演(20回)</li> <li>6 基本的な生活習慣定着促進パンフレットの増刷・配布</li> <li>7 ルルブル通信の発行(4回)</li> <li>8 ルルブル・エコチャレンジ事業の実施:参加者21,063人</li> <li>9 スマホ等の使用に係る注意喚起リーフレットの作成・配布</li> <li>10 子育て世代を対象としたイベントへのブース出展(2回)</li> <li>11 みやぎっ子ルルブルセミナーの実施:参加者117人</li> <li>12 子育て世代を対象としたフリーペーパーでの情報発信(2誌)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 みやぎっ子ルルブルフォーラムの開催</li> <li>2 みやぎっ子ルルブル推進優良活動団体の表彰</li> <li>3 小学生ルルブルポスターコンクールの開催・表彰</li> <li>4 ルルブル体力向上支援事業の実施</li> <li>5 企業と連携した普及啓発事業</li> <li>6 マスメディア等を活用した普及啓発</li> <li>7 ルルブル・エコチャレンジ事業</li> <li>8 紙芝居演劇上演事業</li> <li>9 基本的な生活習慣の重要性をわかりやすく訴える内容のパンフレット制作・配布</li> </ul>
9	夜間定時制高等学校夜食実施事業(スポーツ健康課)	完全給食6校, 補食給食1校で実施する。	平成30年度実績【決算額:5,477千円】	令和元年度計画【予算額:6,022千円】
			完全給食6校, 補食給食1校で実施	完全給食6校, 補食給食1校で実施
10	中学校給食費(スポーツ健康課)	完全給食1校, ミルク給食1校を実施する。	平成30年度実績【決算額:825千円】	令和元年度計画【予算額:1,060千円】
			完全給食1校, ミルク給食1校で実施	完全給食1校, ミルク給食1校で実施
11	特別支援学校給食実施事業(スポーツ健康課)	17校で完全給食を実施する。	平成30年度実績【決算額:17,272千円】	令和元年度計画【予算額:12,879千円】
			17校で完全給食を実施, 光明支援学校で食洗機を購入	17校で完全給食を実施
12	子どもの健康を育む総合食育推進事業(国委託事業)(スポーツ健康課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 学校給食研究協議会の開催</li> <li>2 食に関する指導推進研修会の開催</li> <li>3 学校給食伊達な献立コンクール開催</li> <li>4 食育啓発ポスターコンクール開催</li> <li>5 食育推進啓発カレンダー作成</li> <li>6 学校給食で提供する郷土料理のデータベース作成</li> </ul>	平成30年度実績【非予算】	令和元年度計画【非予算】
			宮城県学校給食会と共催で1~5を実施(宮城県学校給食会が経費を全額負担)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 学校給食研究協議会の開催</li> <li>2 食に関する指導推進研修会の開催</li> <li>3 学校給食伊達な献立コンクール開催</li> <li>4 食育啓発ポスターコンクール開催</li> <li>5 食育推進啓発カレンダー作成</li> </ul>
13	ベジプラス100&塩eco推進事業(健康推進課)	主に働き盛り世代をターゲットに野菜摂取量の増加や減塩を進めるため、「野菜!あと100g」とあわせて「減塩!あと3g」を推進し、県民の健康づくりを進める。	平成30年度実績【決算額:2,271千円】	令和元年度計画【予算額:3,228千円】
			<ul style="list-style-type: none"> <li>1 ベジプラス100&amp;塩ecoキャンペーン(H30.11.1~11.30)</li> <li>2 野菜摂取量の増加と減塩の推進に関する広報(インスタ, ホームページ, ラジオ, フリーペーパー等)</li> <li>3 野菜摂取量の増加と減塩の推進に関するPRグッズの制作(ポスター, チラシ, のぼり, ミニのぼり, スイングポップ等)</li> <li>4 ベジプラス100レシピ制作(20レシピ)</li> </ul>	弁当・そうざいでベジプラス(県内管理栄養士養成校及び各市町村食生活改善推進員による野菜メニューの考案)
小 計(単位:千円)			94,797	105,424

【重点施策2:「食材王国みやぎ」の理解と継承】

プラン3 農林漁業体験を通じた食育の推進    プラン4 地産地消の推進    プラン5 食文化の継承

事業名		事業概要	H30実施内容	R1実施計画
1	宮城米広報宣伝事業 (みやぎ米推進課)	宮城米マーケティング推進機構が実施する宮城米の広報宣伝活動事業に加え、東京・大阪等大消費地へ直接、宮城県産米を売り込むための販売支援活動を実施し、安全性の理解と評価高揚及び消費拡大を推進する。	平成30年度実績【決算額:10,953千円】 1 首都圏での宮城米PR活動:百貨店での物産展、アグリフードEXPO等、宮城米学校給食の日 ・県内での宮城米PR活動:だて正夢デビューイベント、まるごとフェスティバル、店頭PR等 2 雑誌等への広告記事掲載、SNS広告の実施 3 おいしい宮城米米飯提供店におけるプレゼント抽選実施	令和元年度計画【予算額:10,357千円】 1 首都圏での宮城米PR活動:百貨店での物産展、アグリフードEXPO等、宮城米学校給食の日 2 県内での宮城米PR活動:だて正夢デビューイベント、まるごとフェスティバル、店頭PR等 3 雑誌等への広告記事掲載、SNS広告の実施 4 おいしい宮城米米飯提供店におけるプレゼント抽選実施
2	みやぎの園芸・畜産物消費拡大事業(食産業振興課)	消費拡大等に係る事業を実施する関係団体の事業費の一部補助を行うことにより、「仙台牛」をはじめとする県産牛肉及び宮城野豚等の県産豚肉の銘柄確立と認知度向上、流通・消費の拡大を推進するとともに、県産園芸作物のブランド化の推進と消費の拡大を図る。	平成30年度実績【決算額:4,265千円】 平成30年度補助実績:3件	令和元年度計画【予算額:4,030千円】 令和元年度補助予定件数:3件
3	地域食材発掘・販路拡大事業(食産業振興課)	「食材王国みやぎ」の展開の一つである「地産地消」をより実践推進するため、県庁1階玄関ホールを活用し、地域の特色ある食材を発掘するとともに都市部での販路拡大の可能性を探るため市町村や地方振興事務所(地域事務所)を主体とした展示・販売会を定期的実施する。	平成30年度実績【非予算】 県庁1階市町村等地場産品展示・即売の実績 46週(46回)、実施日数208日 実施団体数29団体	令和元年度計画【非予算】 県庁1階市町村等地場産品展示・即売実施予定 46週(46回)、実施日数209日 実施団体数29団体
4	食育・地産地消推進事業(食産業振興課)	1 地産地消の取組推進 (1)地産地消普及啓発 (2)地産地消推進店登録推進 ・地産地消推進店の募集・利用拡大 (3)地産地消推進活動支援 地域での地産地消を促進するため、市町村が構成員となっている協議会等が行う地産地消活動に対し、交付金による支援を行う。 2 みやぎの「食」と「食材」の理解度向上 (1)食材王国みやぎ「伝え人(びと)」登録・活用促進 県内の「食のプロフェッショナル」を「伝え人(びと)」として登録し、小・中学校、児童館、公民館に派遣する。 (2)高校生地産地消お弁当コンテストの開催 高校生を対象に、県産食材の活用方法を競うコンテストを開催し、県産食材を学ぶ機会を提供する。 (3)食料産業・6次産業化交付金(国庫事業) 市町村が実施する食育事業に対し、交付金による支援を行う。 3 食材王国みやぎパートナーシップ会議 (1)食材王国みやぎパートナーシップ会議 (2)食材王国みやぎ推進優良活動表彰 本県食産業に貢献する事業者を「地産地消部門」「ブランド化部門」で表彰する。	平成30年度実績【決算額:5,742千円】 1 地産地消の取組推進 (1)地産地消推進店と連携した県産食材PRキャンペーン開催(1回) (2)地産地消推進店登録店舗数 428店舗(H31年3月末現在) (3)地産地消推進活動支援(2件:多賀城市・石巻市) 2 みやぎの「食」と「食材」の理解度向上 (1)食材王国みやぎ「伝え人(びと)」登録・活用促進 食材王国みやぎ「伝え人」登録者数 34人(H31年3月末現在) 小・中学校、児童館、公民館への派遣件数 28件 (2)高校生地産地消お弁当コンテストの開催 応募総数 9校 34作品 量販店、コンビニでの商品化(4作品) (3)食料産業・6次産業化交付金(国庫事業) 交付件数(1件:涌谷町) 3 食材王国みやぎパートナーシップ会議 (1)食材王国みやぎパートナーシップ会議定期大会開催(1回) (2)食材王国みやぎ推進優良活動表彰 地産地消部門(大賞1, 特別賞2), ブランド化部門(大賞2, 特別賞1)で表彰。	令和元年度計画【予算額:7,291千円】 1 地産地消推進店と連携した県産食材のPR 2 「食材王国みやぎ伝え人」の小・中学校等への派遣 3 高校生地産地消お弁当コンテストの開催 4 食材王国みやぎ推進パートナーシップ会議定期大会等の開催
5	みやぎまるごとフェスティバル開催事業(食産業振興課)	県内の農林水産業、商工業及び職業能力開発などの関係団体並びに地方自治体の協力を得て、農林水産業者、製造加工業者、販売業者及び技能者等が一堂に会し、これらの産業分野を横断した県産品や技能者の作品等の展示・販売・実演などを行うことにより、県産品の消費拡大及び地場産業の振興を図ること、また、創造的復興に向け着実に歩みを進める宮城の姿を発信することを目的として開催する。 (1)市町村特産品、伝統的工芸品の展示販売 (2)生鮮野菜、海産物、新米、畜産物などの販売 (3)農産加工品の手作り加工品、花などの展示販売	平成30年度実績【決算額:5,023千円】 H30年度事業実績 ・開催期間:H30年10月20日(土)・21日(日) ・来場者数:約15万人	令和元年度事業計画 ・開催日:令和元年10月19日(土)・20日(日)

事業名		事業概要	H30実施内容	R1実施計画
6	地域イメージ確立推進事業 (食産業振興課)	「食材王国みやぎ」情報発信事業 食関連情報サイト「食材王国みやぎ」、「食材王国ぶれ宮夢みやぎ」を効率的・効果的に運営するとともに、情報の収集に努め、常に新しい情報を発信する。	平成30年度実績【決算額:2,430千円】	令和元年度計画【予算額:2,745千円】
			食関連情報サイト「食材王国みやぎ」、「食材王国ぶれ宮夢みやぎ」アクセス件数428,812件(H30年度)	1 食関連情報サイト「食材王国みやぎ」、「食材王国ぶれ宮夢みやぎ」の効果的な運営。 2 SNSを活用した、若年層向け情報発信の実施。
7	県産ブランド品確立支援事業 (食産業振興課)	1 認証食品(3E食品)制度の普及等 (1)認証基準検討・認証 (2)認証食品の普及啓発 県庁1階宮城広報室での展示PR, 県庁18階県政広報展示室での展示PR, 東北イオン合同見本市への出展PR, みやぎまるごとフェスティバルでの展示PRを実施する。 2 「食材王国みやぎ」フェアの開催 首都圏等の有名ホテル, レストラン等において, 県産食材を使用した「食材王国みやぎ」フェアの開催を促す。 3 みやぎ食材出合いの旅 県産食材の使用を検討している首都圏ホテル等の調理人, バイヤー等を本県の生産現場に招へいし, 生産者等と直接対話することで, 県産食材の理解をより一層深めてもらい, フェア開催並びに販路拡大の一助とする。	平成30年度実績【決算額:2,505千円】	令和元年度計画【予算額:4,288千円】
			1 認証食品(3E食品)制度の普及等 宮城県認証食品総認証数 89事業者 271商品(H31年3月末現在) 2 「食材王国みやぎ」フェアの開催 食材王国みやぎフェア開催件数 (10回延べ676日) 3 みやぎ食材出合いの旅 みやぎ食材出合いの旅実施件数(5件)	1 一定程度の認知度がある県産農林水産物のさらなるブランド力向上に取り組む生産者の支援 2 認証食品(3E食品)の認証・普及 3 首都圏の有名ホテル, レストラン等の料理人・バイヤー等の生産現場への招へい。 4 「食材王国みやぎフェア」開催支援
8	学校給食における県産食材利用推進事業(園芸振興室)	1 県産食材利用の啓発 (1)学校給食調理場における県産・市町村産食材の利用状況調査(6, 11月) (2)「すくすくみやぎっ子 みやぎのふるさと食材月間」の普及啓発 (3)研修会等の機会を利用し, 市町村の学校給食担当者や栄養教諭を対象に, 県内の農産物生産の現状や28年度実施した県産野菜一次加工品供給モデル実証事業の実績について紹介する。	平成30年度実績【非予算】	令和元年度計画【非予算】
			1 学校給食地場産物活用状況等調査を6月と11月に実施し, 県内産野菜等の利用状況を把握した。 2 「すくすくみやぎっ子 みやぎのふるさと食材月間」を11月に実施し, 地場産農産物の活用に向けた啓発活動を行った。 3 学校給食関係者に対して県産野菜等についての情報紙を3回発行し, 学校給食での地場産農産物の使用促進を図った。	1 学校給食地場産物活用状況等調査を実施(6, 11月)。 2 「すくすくみやぎっ子 みやぎのふるさと食材月間」を11月に実施。 3 学校給食関係者向けの県内園芸品目についての情報紙を4回発行し, 引き続き地場産農産物の活用に向けた体制が整えられるよう働きかけを行う。
9	宮城米学校給食実施事業 (みやぎ米推進課)	学校給食には「みやぎ米飯給食支援方式」により本県産ひとめぼれ1等米を提供し, 「日本型食生活」の普及を図っているが, 不作等により米価が急騰した場合, その掛かり増し経費の一部を負担する。	平成30年度実績【非予算】	令和元年度計画【非予算】
			事業概要のとおり 平成30年度は米価が基準価格を超えなかったため, 掛かり増し経費は発生しなかった。	事業概要のとおり
10	新世代アグリビジネス総合推進事業 (農山漁村なりわい課)	1 アグリビジネス経営確立支援事業 本県農業の牽引役となるアグリビジネス経営体(販売額1億円以上)の育成を図る。(公財)みやぎ産業振興機構アグリビジネス支援室と連携し, 講座や専門家派遣等を実施。計画実現に必要な施設や機械の導入補助。 2 農産物直売・農産加工ブラッシュアップ支援事業 農産加工事業者の商品力や販売力の向上を支援するため, 研修会の開催や専門アドバイザーを派遣する。また, 農産物直売所のマーケティング支援を行う 3 みやぎの農産物直売所等魅力再発見事業 農産物直売所等の魅力を発信する取組を行い, 直売所等の集客及び販売額の拡大を図る。(1)農産物直売所等スタンプラリー (2)消費者バスツアーの実施 (3)地域提案型イメージ回復事業	平成30年度実績【決算額:69,077千円】	令和元年度計画【予算額:137,978千円】
			1 アグリビジネス経営確立支援事業 ※経営体育成支援事業のため, 実績詳細は省略 2 農産物直売・農産加工ブラッシュアップ支援事業 ・研修会 4回 ・専門アドバイザー派遣 4組織・11回 ・農産物直売所マーケティング支援 2カ所 3 みやぎの農産物直売所等魅力再発見事業 (1)8/31~12/9実施, 参加店舗112店舗 (2)6回(三陸, 大崎, 蔵王, 丸森, 登米, 亘理・山元) (3)3地区(丸森・栗原・大崎)	1 アグリビジネス経営確立支援事業 ※経営体育成支援事業のため, 実績詳細は省略 2 農産物直売・農産加工ブラッシュアップ支援事業 ・研修会の開催 ・専門アドバイザー派遣 ・農産物直売所マーケティング支援 3 みやぎの農産物直売所等魅力再発見事業 ・県南及び県北地域の直売所等紹介ガイドブック作成 ・体験型消費者バスツアーの実施
11	子ども農業体験学習推進事業 (農業振興課)	小・中学校教員を対象に, 農産物の生産や加工に関する体験学習をとおして「食」に対する理解や, 「職業」としての農業に対する関心を深めるため, 農業体験学習の具体的な技術手法(植物管理実習, 加工利用方法等)に加え, 農作物のミニ知識や食育活動の重要性, 地域の農業者の活動から学ぶ食と農のつながりなどを講習し, 農業体験等学習教育の推進に役立てるもの。	平成30年度実績【決算額:102千円】	令和元年度計画【予算額:188千円】
			Aコース:地域食材を使ったおいしい加工体験と「命をいただくありがたさ」講話コース Bコース:花苗の取扱い手法&目からウロコの果樹豆知識習得コース	Aコース:精進料理を学ぶ~調理実習と地域の伝統を伝える人々とふれあう~コース Bコース:花苗の取扱い手法&目からウロコの果樹豆知識習得コース
12	みやぎの田園環境教育支援事業 (農村振興課)	農業・農村の持つ魅力などを再認識してもらうとともに, 農村環境保全に係る意識の醸成を図るため地域や学校教育と連携し, 田んぼの生き物調査, 小学校総合学習への支援を行う。	平成30年度実績【決算額:非予算】	令和元年度計画【予算額:非予算】
			農村・環境保全等の協働活動への支援 47回	引き続き, 農村・環境保全等の協働活動を支援する

事業名		事業概要	H30実施内容	R1実施計画
13	むらまち交流拡大推進グリーン・ツーリズム促進支援事業 (農山漁村なりわい課)	市町村等が実施するグリーン・ツーリズム活動への助言指導やと関係団体への人材派遣による現地指導等、農泊や農林漁家民宿等の情報発信のほか、民間主導の協議会運営を支援する。	平成30年度実績【決算額:4,650千円】 1 みやぎの農泊サイトの開設 2 アドバイザー派遣 10回 3 実践者向け研修会 2回 等	令和元年度計画【予算額: 5,328千円】 1 みやぎの農泊サイトの追加、更新 2 アドバイザー派遣、実践者向け研修会の開催、協議会への補助
14	「みやぎ水産の日」を核としたPR活動、食育講座 (水産業振興課販路開拓支援班)	魚食普及、県産水産物の県内需要拡大を図るため、各種イベント等における「みやぎ水産の日」PRや、食育講座等を行う。	平成30年度実績【決算額:1,196千円】 1 夏休み2018宿題・自由研究大作戦において『「魚の宝石」耳石を探そう!! 耳石ハンター養成講座』の実施 2 食育ミュージカル「カゴメ劇場」仙台公演における「みやぎ水産物」PR 3 みやぎまるごとフェスティバルにおける「みやぎ水産の日PRブース」の設置 4 仙台白百合女子大学及び宮城県漁協との連携による子ども向け食育教材の活用や、漁協キッチンカーによる県産水産物の試食、魚食に関するセミナー等の開催 5 河北カルチャーセンターにて「みやぎ水産の日 海の幸料理教室」を実施 6 「子育て世代向け」に特化した料理教室を実施 7 普及啓発活動(HPによる情報提供、リーフレットの発行、県庁食堂の協力による「みやぎ水産の日」のランチ提供、県政広報展示室におけるパネル展示等)	令和元年度計画【予算額:1,600千円】 1 夏休み2019宿題・自由研究大作戦(8/9-8/10)において『「魚の宝石」耳石を探そう!! 耳石ハンター養成講座』の実施 2 食育ミュージカル「カゴメ劇場」仙台公演(7/29)における「みやぎ水産物」PR 3 豊かな海づくりフェスタ2019(10/19-20)における「みやぎ水産の日PRブース」の設置 4 仙台白百合女子大学及び宮城県漁協との連携による子ども向け食育教材の活用や、漁協キッチンカーによる県産水産物の試食、魚食に関するセミナー等の開催 5 河北カルチャーセンターにて「みやぎ水産の日 海の幸料理教室」を実施 6 「子育て世代向け」に特化した料理教室を実施 7 普及啓発活動(HPによる情報提供、リーフレットの発行、県庁食堂の協力による「みやぎ水産の日」のランチ提供、県政広報展示室におけるパネル展示等)
15	地域未来創出事業 「みやぎ蔵王三十六景推進事業」 (大河原地方振興事務所)	みやぎ蔵王三十六景食のブランド化事業 1 仙南地域の「郷土料理」伝承等事業 「おくずかけ」の普及促進と観光資源としての活用 2「食」の名物づくり事業 仙南地域の「スイーツ」の掘り起こしと、「スイーツ」をツールとした集客促進 3「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」普及促進事業 地域の逸品の推奨	平成30年度実績【決算額:258千円】 1 みやぎ蔵王三十六景食のブランド化事業 (1)地域の逸品普及促進事業 ・「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」の推奨 ・「仙南地域の食『みやぎ蔵王』ブランド推進セミナー」の開催 (2)仙南地域の「郷土料理」伝承等事業 ・「仙南地域の郷土料理『おくずかけ』を味わう会」の開催 ・「仙南地域の郷土料理『おくずかけ』家族料理教室」の開催 ・飲食店や宿泊施設における「おくずかけ」の提供推進 ・「おくずかけ」普及促進に向けた広報及び情報収集	令和元年度計画【予算額:551千円】 1 みやぎ蔵王三十六景食のブランド化事業 (1)仙南地域の「郷土料理」伝承等事業 ・「おくずかけ」PRイベントの開催 ・飲食店や宿泊施設における「おくずかけ」の提供推進 (2)「食」の名物づくり事業 ・管内にある菓子店のリスト化 ・観光パンフレットへの掲載 ・スイーツイベントの開催 (3)「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」普及促進事業 ・販売会の開催 ・「地域の逸品PRリーフレット」の修正増刷 ・ブランド推進セミナーの開催
16	地場産品の販路拡大、地産地消推進 (大河原地方振興事務所)	1 県内外への販路拡大に向けた支援 2 地産地消・食育に関する情報発信	平成30年度実績【非予算】 1 仙南地域の農産物の利用促進と実需者とのマッチング ・農林業者や食品加工製造業者に対する商談会や販売会等の各種支援事業の情報提供 ・飲食店や直売所等への地元農産物及び加工品の情報提供 2 大河原地方振興事務所ブログやみやぎ蔵王温泉郷Facebook等による情報発信 ・事務所ブログ(仙南地域情報ブログ「見てイガイん! 仙南の魅力」)及びみやぎ蔵王温泉郷Facebookに、仙南地域の地産地消・食育に関連する記事を各19件掲載 3 その他 ・東京アンテナショップ「宮城ふるさとプラザ」への出展促進により、2事業者が新規出展	令和元年度計画【非予算】 1 県内外への販路拡大に向けた支援 ・農林業者や食品加工製造業者に対する商談会や販売会等の各種支援事業の情報提供 ・東京アンテナショップ「宮城ふるさとプラザ」への出展促進等による県外への販路拡大 2 地産地消・食育に関する情報発信 ・大河原地方振興事務所ブログやみやぎ蔵王温泉郷Facebook等による地域食材・加工品の魅力発信
17	地域未来創出事業 「食産業販路回復事業～仙台地域食材PR～」 (仙台地方振興事務所)	料理人、消費者へ仙台エリアの食材を様々な方法でPRし、地産地消推進、食材の理解を深める。 1 みやぎ食材伝道士事業 2 おすすめ食材PR・販売 (原木しいたけ・管内水産物) 3 河北新報発行食材情報誌「みやぎの食と食文化の発信マガジンしゅん」における産地復活PR 4 マスメディアを活用した仙台エリア食材ファン開拓事業	平成30年度実績【決算額:1,341千円】 1 みやぎ食材伝道士事業 食材マッチング(巨理の海苔)の実施 2 仙台エリアのおすすめ食材PR 原木しいたけ・水産物のPR及び販売イベントの開催 3 河北しゅんを活用した食材PR 年間6食材の紹介及び食事企画立案への協力 4 管内水産加工品を主体とした販路開拓・拡大事業 栃木県において商談会を開催	令和元年度計画【予算額:1,584千円】 1 みやぎ食材伝道士事業 仙台エリア食材の利用促進 2 仙台エリアのおすすめ食材PR 原木しいたけ・水産物のPR及び販売イベントの開催 3 河北しゅんを活用した食材PR 年間で6食材を紹介し仙台圏域の食材をPR 4 マスメディアを活用した仙台エリア食材ファン開拓 一般消費者向けクッキング教室、専門学生によるレシピコンテストの開催

事業名		事業概要	H30実施内容	
18	黎明田畑を活用した農業体験学習 (北部地方振興事務所)	古川黎明中学校に対し、大豆や野菜など農業体験活動を支援する。 ・農業体験打合せ ・作付けほ場計画作成 ・土壌診断及び施肥設計作成	平成30年度実績【非予算】	令和元年度計画
			・農業体験打合せ ・作付けほ場計画作成 ・土壌診断及び施肥設計作成	※令和元年度は、実施しない。
19	親子農業体験学習 (北部地方振興事務所)	大崎4HCが大崎生涯学習センターから委託を受けて実施する「親子でいっしょに農業体験&食育体験」の活動を支援する。 ・野菜の定植及び管理 ・野菜の収穫及び調理体験	平成30年度実績【非予算】	令和元年度計画【非予算】
			大崎4HCが大崎生涯学習センターから委託を受けて実施する「親子でいっしょに農業体験&食育体験」の活動を支援した。 ・野菜の定植及び管理 ・野菜の収穫及び調理体験	大崎4HCが大崎生涯学習センターから委託を受けて実施する「親子でいっしょに農業体験&食育体験」の活動を支援する。
20	地域未来創出事業 「交流人口増加に向けた市町等との連携事業」 (北部地方振興事務所)	市町等が開催する食関連イベント等の開催を支援し、地産地消の推進を図る。また、地域食材の魅力を発信し、消費拡大につなげていく。 ・「おおさき食楽まつり」、「おおさき料理対決」等の食関連イベント開催支援 ・地域食材情報の発信	平成30年度実績【決算額:606千円】	令和元年度計画【予算額:541千円】
			1 「食」をテーマに開催された「おおさき食楽まつり2018」に地産地消ブースを提供し、地域食材の普及を図った。 2 地理的表示「GI」保護制度の登録を記念して「岩出山凍り豆腐」と「みやぎサーモン」をテーマに開催された「第20回おおさき料理対決」の開催支援を行い、地域食材の普及啓蒙を図った。	1 「大崎地域の食材を味わう会」の開催 2 「おおさき食楽まつり」、「おおさき料理対決」の開催支援
21	大崎ふれあい市事業 (北部地方振興事務所)	大崎地域の農林産物や加工品のPRと消費者交流を促進するため、古川八百屋市in仙台(勾当台公園)の開催を支援する。	平成30年度実績【非予算】	令和元年度計画【非予算】
			大崎地域の農林産物や加工品のPRと消費者交流を促進するため、古川八百屋市in仙台(勾当台公園)の開催を支援した。	大崎地域の農林産物や加工品のPRと消費者交流を促進するため、古川八百屋市in仙台(勾当台公園)の開催を支援する。
22	地域未来創出事業 「食産業関連業者の販売力・情報発信力等支援事業」 (北部地方振興事務所栗原地域事務所)	1 事業者の販売力、商品力、情報発信力向上による、当該地域の食材、地域産品の認知度向上と消費拡大。 (1)(一社)栗原市観光物産協会が仙台市一番町四丁目商店街で開催する「くりはら産品フェア」の開催支援及び地域産品の商品力・収益力向上のための研修会を開催 2 栗原産食材のPRと食関連事業者とのマッチング支援を通じた販路拡大及び地産地消の推進。 (1)所内関係部及び管内関係機関と連携した、食材及び生産者・食品加工事業者情報の集約・共有 (2)【1】で収集した情報を栗原市内及び仙台都市圏等の実需者に向けた、情報発信	平成30年度実績【決算額:82千円】	令和元年度計画【予算額:209千円】
			1 事業者の販売力、商品力、情報発信力向上による、当該地域の食材、地域産品の認知度向上と消費拡大。 (1)(一社)栗原市観光物産協会とともに「くりはら産品フェア」開催に向けた調整を行い(3月30日(土)開催)栗原地域の食材・加工品の認知度向上と消費拡大を図った。 また、地域食材の収益性向上に向け、栗原市等と共催で「栗原地域農業収益性向上セミナー」を1月30日(水)に開催し、①「地域農業の将来像地域の主役としての集落営農」(東北大学大学院農学研究科 伊藤房雄副研究科長)、②「農産物直売所の動向と魅力ある店舗づくりのポイント」(倉島経営士事務所 倉島史明氏)に講演をいただいた。参加者は140名であった。 2 栗原産食材のPRと食関連事業者とのマッチング支援を通じた販路拡大及び地産地消の推進 (1)所内各部と連携し、地域食材及び生産者・食品加工事業者情報の集約・共有を行うとともに、販路拡大に向けた栗原市内及び仙台都市圏等の実需者に対する情報発信の手段等について所内検討を行った。 管内生産者及び食品加工事業者、地域食材・産品を取り扱う市内卸売事業者等を対象に、商談会参加支援等を行った。 (2)収集した情報を元に販路拡大に取り組むべき地域産品を所内各部で絞り込み、情報共有化を図った。	1 地域産品の販路拡大 (1)栗原市内及び仙台都市圏等の実需者に向けた、地域産品・事業者情報の発信や市内観光イベント及び市外観光PRイベント開催時等における、消費者に向けた地域産品情報の発信。 (2)管内生産者・食品加工業者・卸売業者に対する、商談会参加の支援。 (3)企業訪問等を通じた地域産品・事業者情報の追加・更新と集約・共有。 2 地域産品のPR販売の実施及び実施支援 (1)「くりはら産品市」等における地域産品のPR販売や「県庁1階ロビー販売(4月・12月、栗原市開催枠)」、「くりはら産品フェア」等における地域産品PR販売支援。 (2)所内各部における販路開拓・拡大支援事業者への出展誘導及び出展支援。 (3)各種広報。 3 地域産品生産・販売事業者の情報発信力・販売力向上セミナーの開催
23	地域未来創出事業 「観光と食の魅力発信支援」 (東部地方振興事務所)	1 地元食材への関心を高めるとともに、地元事業者の販路拡大を支援するため、イオン石巻店と連携し、物産展を開催する。 2 あ・ら・伊達な道の駅(大崎市)において、石巻圏域の観光、食、特産品等に関するパンフレットを配架し、PRを行うとともに、物産品の販売支援を行う。 3 「Reborn-Art Festival2019」や「石巻復興フード見本市」等のイベントを活用し、石巻圏域の特産品等の情報発信・PR活動を行う。	平成30年度実績【決算額:311千円】	令和元年度計画【予算額:450千円】
			・イオン石巻店11周年祭「いしのまきフェア」における食と観光のPRの実施(11/2~11/5)。 ・「石巻地域物産展～あ・ら・伊達な道の駅フェア～」の開催(11/10)。 ・「TRANSIT!Reborn-Art2018(8/4~9/2)」,「いわて♡みやぎ♡ふくしまフェスタ@MEGAWEB(10/6~10/8)」,「石巻復興フード見本市(2/20)」等県内外のイベントにおける食と観光のPRの実施。	・大型イベントと連携した観光と食のPRの実施。 (1)Reborn-Art Festival2019 (2)ツール・ド・東北2019 (3)イオンいしのまきフェア (4)いしのまき復興フード見本市 等 ・あ・ら・伊達な道の駅(大崎市)において、物産展を開催し、石巻圏域の食と観光の魅力を発信。

事業名		事業概要	H30実施内容	R1実施計画
24	地域未来創出事業 「次代につなぐ登米観光戦略実践事業」 (東部地方振興事務所登米地域事務所)	文化・歴史関連施設及び観光施設への誘客対策を実施するとともに、登米市産食材のPRを行う	平成30年度実績【決算額:0千円】	令和元年度計画【予算額:377千円】
			1 イベントを活用した観光、食、特産品の情報発信・PR活動 2 部横断プロジェクトでの食に関する情報発信の取組 3 登米4HCによる園児を対象にしたそば打ち交流会 4 女性農業者ステップアップ講座での食文化伝承活動 5 地域資源(マイタケ)を活用した体験学習の実施	1 キャンプイベント開催による観光及び農林畜産物のPR 2 地域食材の魅力の掘り起こしと発信 3 登米市産の農産物と加工品の販売促進 4 各種イベントにおける登米市産食材と「食」のPR活動
25	農業・農村男女共同参画支援事業 「地域食材料理講習会」 (気仙沼地方振興事務所)	地域食材の活用について学ぶ料理講習会を開催する。	平成30年度実績【決算額:49千円】	令和元年度計画【予算額:72千円】
			1 季節の魚料理をテーマとした料理講習会を開催し、16名が参加した。 2 ねぎ料理をテーマとした料理講習会を開催し、23名が参加した。	地域の農林水産物を活用した料理講習会を開催する。
26	地場産品生産者に対する支援 (地場産品臨時直売所の合庁内設置等) (気仙沼地方振興事務所)	1 毎月第1金曜日に、気仙沼合同庁舎の1階に管内の農林産物や農林水産加工品の臨時直売所を設置。 2 「みやぎ水産の日」(毎月第3水曜日)の週の金曜日に臨時直売所を設置し、地域の水産物のPR活動を行う。	平成30年度実績【非予算】	令和元年度計画【非予算】
			1 毎月第1金曜日に設置した農林産物を販売する臨時直売所には延べ31事業者が出展し、売上の合計は770千円であった。 2 「みやぎ水産の日」の週の金曜日に設置した水産物を販売する臨時直売所には延べ18事業者が出展し、売上の合計は1,023千円であった。	平成30年度と同様に毎月第1金曜日及び「みやぎ水産の日」(毎月第3水曜日)の週の金曜日に臨時直売所を設置し、地域の農林水産物のPRを実施する。
小計(単位:千円)			108,590	182,589

【重点施策3:食の安全安心に配慮した食育】プラン6 食の安全安心に係る信頼の確立

事業名		事業概要	H30実施内容	R1実施計画
1	地域栄養管理対策事業 (健康推進課)	1 食品表示の適正化に関する指導等 2 啓発普及, 相談, 監視指導等	平成30年度実績【決算額:非予算】 食品表示相談及び指導(各保健所で実施) *予算は重点施策4 地域栄養管理対策事業から支出	令和元年度計画【予算額:非予算】 食品表示相談及び指導(各保健所で実施) *予算は重点施策4 地域栄養管理対策事業から支出
2	食中毒予防啓発事業 集団給食施設等監視指導事業 (食と暮らしの安全推進課)	食中毒が発生しやすい夏場時期を食中毒予防月間として, 啓発事業, 監視指導, 衛生講習会を実施し, 食中毒の発生を未然に防止する。 1 広報活動の実施 (1)イベント会場・大型量販店等での食中毒予防キャンペーン (2)広報誌等への食中毒予防啓発記事の掲載 (3)腸炎ビブリオ食中毒注意報の発令と各保健所前に垂れ幕の掲示 (4)ホームページへの食中毒予防法等の掲載 2 チラシによる広報 3 監視及び指導等の強化 4 営業者及び消費者に対する講習会	平成30年度実績【決算額:518千円】 1(1)各保健所(支所)ごとに, 量販店の来店者を対象に食中毒予防の声かけ, チラシ, 啓発品を配布 (2)市町広報誌への記事掲載, 新聞(地方紙)へ記事掲載 (3)腸炎ビブリオ食中毒注意報を発令しHP掲載の他, 新聞記事掲載, 各保健所(支所)への垂れ幕掲示 (4)食中毒に関する基礎知識, 食中毒に関するお知らせ等を掲載 2 食中毒予防チラシの配布 15,000枚 3 食品衛生監視員による監視指導(集団給食施設, 大量調理施設, 旅館, 飲食店営業, 食品販売業, 食品製造業, 大型量販店等) 1,128件 4 営業者及び消費者に対する講習会 合計41回1,330人	令和元年度計画【予算額:559千円】 1(1)住民啓発事業の実施 (2)県・市町村広報誌等への食中毒予防啓発記事の掲載 (3)腸炎ビブリオ食中毒注意報の発令と啓発 (4)ホームページへの食中毒予防法等の掲載 2 食中毒予防チラシの作成と配布 3 集団給食施設, 旅館等の監視指導 4 食中毒予防等に関する講習会の開催
3	みやぎ食の安全安心県民総参加運動 (食と暮らしの安全推進課)	1 食の安全安心消費者モニター制度事業 (1)消費者モニターの登録 ②モニターだよりの発行 ③アンケート調査の実施 ④食品工場見学会・生産者との交流会の開催 ⑤研修会の開催 2 食の安全安心取組宣言事業 (1)取組宣言者の登録 ②ロゴマークシールの提供 3 食の安全安心相互交流理解度アップ事業 (1)食の安全安心セミナーの開催 (2)②地方懇談会の開催	平成30年度実績【決算額:1,252千円】 1①消費者モニターの登録(新規60人, 取消44人), ②モニターだよりの発行(3回), ③アンケート調査(回答522人), ④食品工場見学会・生産者との交流会の開催(3回), ⑤研修会の開催(1回)。2①取組宣言者の登録(新規22者, 取消29者), ②ロゴマークシールの提供(17者45,630枚)。3①食の安全安心セミナーの開催(3回), ②地方懇談会の開催(18回)。	令和元年度計画【予算額:2,074千円】 1①消費者モニターの登録, ②モニターだよりの発行(3回), ③アンケート調査の実施, ④食品工場見学会・生産者との交流会の開催(3回), ⑤研修会の開催(1回)。2①取組宣言者の登録, ②ロゴマークシールの提供(80,000枚)。3①食の安全安心セミナーの開催(3回), ②地方懇談会の開催(9回)。
4	安全・安心のための学校給食対策事業(スポーツ健康課)	学校給食用食材のサンプル測定(簡易測定による事前測定)	平成30年度実績【決算額:4,973千円】 学校給食用食材のサンプル測定(634件)	令和元年度計画【予算額:6,033千円】 学校給食用食材のサンプル測定
5	環境にやさしい農業定着促進事業 (みやぎ米推進課)	1 環境保全型農業の普及拡大に向け, 持続農業法に基づき計画を作成し実践するエコファーマーの認定を行う。 2 県独自の特別栽培農産物の認証制度(みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度)を運営し, 信頼性の高い特別栽培農産物の生産, 出荷, 流通を推進する。 3 農業の自然循環機能の維持増進を図るため, 化学的に合成された肥料や農薬の使用を避け, 農業生産に由来する環境への負荷をできる限り低減した有機農業を推進する。	平成30年度実績【決算額:2,893千円】 1 エコファーマーの認定会議の開催 2 みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度運営委員会の開催 3 生産者と栽培指導者向けにみやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度の説明会の開催 4 消費者向けに環境保全型農業に関するバスツアーの開催 5 宮城県産特別栽培農産物の取扱い店舗で特別栽培農産物の販売会の開催 6 みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度のPRグッズの作成 7 オーガニックウィークセンダイにおける有機農産物の販売会の開催	令和元年度計画【予算額:7,762千円】 1 エコファーマーの認定会議の開催 2 みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度運営委員会の開催 3 生産者と栽培指導者向けにみやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度の説明会の開催 4 消費者向けに環境保全型農業に関するバスツアーの開催 5 特別栽培農産物の取扱い店舗やアンテナショップで宮城県産特別栽培農産物の販売会の開催 6 宮城県産特別栽培農産物推進店に関するPRグッズの作成 7 オーガニックウィークセンダイにおける有機農産物の販売会の開催
小計(単位:千円)			9,636	16,428

【重点施策4:みんなで支えあう食育】 プラン7 食育支援ネットワークの強化 プラン8 食育推進の環境づくり

事業名		事業概要	H30実施内容	R1実施計画
1	栄養士・調理師研修会 (健康推進課)	栄養士の資質向上のため、栄養士研修会の開催や学術研修会への派遣など栄養士の資質向上を図る。 1 行政栄養士研修会の開催 2 学術研修会への派遣	平成30年度実績【決算額:168千円】	令和元年度計画【予算額:224千円】
			1 行政栄養士研修会の開催(1回) 2 学術研修会への派遣(中堅期2人, 新任期1人)	1 行政栄養士研修会の開催(1回) 2 学術研修会への派遣(中堅期2人)
2	地域栄養管理対策事業 (健康推進課)	表示の適正化指導や普及啓発等を行うとともに、食を通じた社会環境の整備による県民の健康増進を図る。 1 食環境整備事業	平成30年度実績【決算額:443千円】	令和元年度計画【予算額:565千円】
			食環境整備事業(保健所担当者打合せを開催)	食環境整備事業(保健所担当者打合せを開催)
3	みやぎの食育戦略推進事業 (健康推進課)	1 普及・啓発活動の実施 2 食育を推進する人材の育成・支援 3 地域の食育推進事業	平成30年度実績【決算額:2,921千円】	令和元年度計画【予算額:3,267千円】
			1(1)ミヤギテレビ「子育て応援団すこやか」、食育ミュージカル「カゴメ劇場」における「食育コーナー」の設置 (2)みやぎ食育フォーラムの開催(1回) (3)普及啓発活動(HPIによる情報提供、県庁食堂における普及啓、県庁ロビーにおけるパネル展示等) (4)ラジオを通じたみやぎの食育の情報発信 (5)ベジプラスレシピ集の制作 2 (1)みやぎ食育コーディネーター、みやぎ食育コーディネーター、みやぎ食育応援団の登録事業 (2)みやぎ食育コーディネーターのマッチング 20件 (3)みやぎ食育コーディネーター研修会 3回 3 各保健福祉事務所が地域の特色や課題を踏まえ、高校生を対象とした食育講座や食育コーディネーター研修会等を実施した。	1(1)イベント参加による「野菜摂取」の普及・啓発 (2)みやぎ食育フォーラムの開催(1回) (3)企業と連携した野菜摂取の推進 (4)普及啓発活動(HPIによる情報提供、県庁食堂における普及啓、県庁ロビーにおけるパネル展示等) (5)ラジオを通じたみやぎの食育の情報発信 (6)ベジプラスレシピの普及 2(1)みやぎ食育コーディネーター、みやぎ食育コーディネーター、みやぎ食育応援団の登録事業 (2)みやぎ食育コーディネーターのマッチング (3)みやぎ食育コーディネーター研修会(3回) 3 各保健福祉事務所が地域の特色や課題を踏まえ、研修会等を実施する。
4	学校栄養職員研修事業費 (教職員課・総合教育センター)	1 学校栄養職員等研修 (1)栄養教諭新規採用者研修 (2)栄養教諭5年経験者研修 (3)中堅栄養教諭資質向上研修 (4)中堅学校栄養職員資質向上研修 2 食育指導者養成研修 3 健康教育・食育行政担当者連絡協議会	平成30年度実績【決算額:192千円】	令和元年度計画【予算額:696千円】
			【実施内容】 1 栄養教諭等研修 (1)栄養教諭新規採用者研修 ・研修日数 校外研修9日 校内研修4日 ・受講者11名 (2)栄養教諭5年経験者研修 ・研修日数 校外研修4日 校内研修2日 ・受講者3名 (3)中堅栄養教諭資質向上研修 ・研修日数 校外研修6日 校内研修6日 ・受講者3名 (4)中堅学校栄養職員資質向上研修 ・研修日数 校外研修5日 校内研修6日 ・受講者1名 2 食育指導者養成研修 ・研修日数 4日間(つくば会場) 受講者2名 3 健康教育・行政担当者連絡協議会 ・研修日数 2日間(東京会場) 受講者1名	【実施計画】 1 栄養教諭等研修 (1)栄養教諭新規採用者研修 ・研修日数 校外研修10日 校内研修4日 ・受講予定者5名 (2)栄養教諭5年経験者研修 ・研修日数 校外研修3日 校内研修2日 ・受講予定者1名 (3)中堅栄養教諭資質向上研修 ・研修日数 校外研修6日 校内研修6日 ・受講予定者10名 2 食育指導者養成研修 ・研修日数 4日間(つくば会場) 受講予定者2名 3 健康教育・行政担当者連絡協議会 ・研修日数 2日間(東京会場) 受講予定者1名
5	学校給食管理指導事業 (スポーツ健康課)	1 栄養教諭を文部科学省主催の「学校給食の衛生管理等に関する指導者講習会に派遣」する。 2 学校給食衛生管理等巡回訪問を実施する。	平成30年度実績【決算額:476千円】	令和元年度計画【予算額:461千円】
			学校給食の衛生管理等に関する指導者講習会に3名派遣 学校給食施設を16カ所訪問	学校給食の衛生管理等に関する指導者講習会に3名派遣 学校給食施設を15カ所訪問
6	協働教育基盤形成事業 (生涯学習課)  みやぎらしい家庭教育支援基盤形成事業	1 協働教育基盤形成事業(うち食育に関連する事業) 各家庭が望ましい食生活を持続的に行い、健康な子どもが育まれるように、食育の啓発に努める。このために、家庭教育支援を行うボランティア(子育てサポーター、子育てサポーターリーダー)を養成する講座等において、これを果たす研修内容と取り入れるとともに、WEBページ上で情報を発信する。 (1)子育てサポーター養成講座(県内各圏域20回) (2)子育てサポーターリーダー養成講座 (3)子育てサポーターリーダーネットワーク研修会 (4)WEBページでの「早寝早起き朝ごはん」の推奨に関する情報提供	平成30年度実績【決算額:3,829千円】	令和元年度計画【予算額:7,890千円】
			1 協働教育基盤形成事業(うち食育に関連する事業) 子育てサポーター養成講座や子育てサポーターリーダー養成講座等で基本的な生活習慣の大切さを研修内容に盛り込むとともに、「早寝早起き朝ごはん」体操も取り入れ、地域での活動に役立てることができた。WEBページ上でも情報発信を行った。 (1)子育てサポーター養成講座(県内各圏域20回)(2)子育てサポーターリーダー養成講座年4回(3)子育てサポーターリーダーネットワーク研修会年1回(4)WEBページでの「早寝早起き朝ごはん」の推奨に関する情報を提供した。	1 協働教育基盤形成事業(うち食育に関連する事業) 子育てサポーター養成講座や子育てサポーターリーダー養成講座等で基本的な生活習慣の大切さを研修内容に盛り込むとともに、「早寝早起き朝ごはん」体操も取り入れ、地域での活動に役立てる。WEBページ上でも情報発信をする。 (1)子育てサポーター養成講座(県内各圏域20回)(2)子育てサポーターリーダー養成講座(3)子育てサポーターリーダーネットワーク研修会(4)WEBページでの「早寝早起き朝ごはん」に関する情報提供を行う。
小 計(単位:千円)			8,029	13,103